

令和 8 年度 第 1 回学校運営支援協議会

日時 令和 8 年 6 月 9 日 (火) 13:55～

場所 弥栄小学校 2 階 わくわくルーム

次 第

進行：副校長

- 1 開会のことば
- 2 授業参観（プール開き）
- 3 令和 8 年度委員紹介（委嘱状交付）
- 4 校長挨拶
- 5 説明及び協議
 - (1) 組織について（会長 1・副会長 2・事務局）
 - (2) 令和 8 年度学校運営支援協議会 推進予定について
 - (3) 令和 8 年度学校経営方針について
 - (4) まなびフェスト・学校評価について
 - (5) その他
- 6 その他〈連絡事項など〉
- 7 閉会のことば

(1) 組織について

※P9 一関市学校運営支援協議会規則 第10条 参照

(2) 令和8年度学校運営支援協議会推進予定

第1回会議 令和8年6月9日(火)

【内容】

- ☐ 組織について
- ☐ 学校経営方針、重点、まなびフェスト、学校評価について

【期間内の主な学校予定】 ※○：参観案内を送付

- ・校内水泳記録会 (7月17日)
- ・夏季休業プール開放 (7月27日～7月30日) ※予定
- ・夏休み作品・自由研究発表会 (8月24日)
- ・夏休み作品展示 (8月26日～8月28日) ※予定
- ・校内ミニコンサート (9月 日) ※予定

第2回会議 令和8年9月15日(火)

【内容】

- ☐ 1学期学校評価・まなびフェストアンケート結果について
- ☐ 学校支援活動の推進について
- ☐ 弥栄っ子に望む姿について

- ・祖父母参観 (9月25日)
- ・校内マラソン大会 (10月 2日)
- 学習発表会 (10月24日)
- 授業参観・学校保健会 (11月20日)
- ・校内なわとび大会 (1月29日)
- ・授業参観 (2月 5日)
- ・6年生ありがとう集会・太鼓引継式 (2月25日)

第3回会議 令和9年2月26日(金)

【内容】

- ☐ 2学期学校評価・まなびフェストアンケート結果について
- ☐ 令和8年度学校経営方針・重点について

○卒業証書授与式 (3月19日)

令和8年度学校経営

○入学式 ○大運動会

(3) 令和8年度学校経営方針

1 学校経営の基本的な考え方

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、関係諸法令の理念に基づくとともに、県学校教育指導指針、市学校教育方針、復興教育の目的を踏まえた教育活動の推進に努める。

【岩手県が目指すところ】

○県教育振興計画 基本目標

「学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり」

○学校教育で目指す姿

「岩手の子どもたちが、自分らしくいきいきと学び、夢を育み、予測困難な時代においても、希望あるいわてを創造する『生きる力』を身に付けている」

○いわての復興教育の定義

郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通して、3つの教育的価値（いきる・かかわる・そなえる）を育てること。

【一関市が目指すところ】

○教育振興の基本目標

「学びの風土を礎に 心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり」

○一関市学校教育 基本方針

- ・児童・生徒の実態に即し、地域の環境や特性を生かした特色ある教育を創造する。
- ・たくましく心豊かに生きる児童・生徒を育成する。
- ・社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を育成する。

- (2) 本校の歴史や伝統、地域の実態を考慮しながら創意工夫を図り、自立した社会人として生きていく力の育成に努める。

- (3) 地域住民の信託に応え、家庭・地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。

2 学校教育目標

『 進んで学び 心豊かで たくましい子どもの育成 』

【具体目標と児童の具体像（目指す姿）】

○学ぶ子ども （知）

- ・自ら学び考える子
- ・確かな学力を身に付けた子
- ・豊かに表現できる子

○助け合う子ども （徳）

- ・思いやりのある子
- ・明るい挨拶や返事をする子
- ・誰とでも協力する子

○きたえる子ども （体）

- ・自分の身を守ることでできる子
- ・健康的な生活をする子
- ・最後までやり抜く子

3 目指す教師像（「^{きょうがく}教学半（教うるは学ぶの半ばなり）」の心で）

- (1) 児童一人ひとりを大切に、よさや可能性の伸長に尽力する教師
- (2) 向上心をもって相互に磨き合い、協働して課題を解決する教師
- (3) 保護者・地域の声に真摯に耳を傾け、信頼に応える教師

4 目指す学校像（一人ひとりに「居場所」があり、「絆」が育まれる場所として）

- (1) 学ぶ楽しさ、ふれ合う喜びのある学校
- (2) 安心・安全な学校
- (3) 家庭や地域から信頼される学校

5 経営方針

～生きる土台となる「自己肯定感」「自己有用感」を、6年間をとおして育み高める～

- (1) 児童の発達特性や実態に即した指導目標の設定と、効果的なP（計画・目標設定）・D（実践）・C（評価・反省）・A（改善）サイクルの構築、評価方法の改善により、取組の改善・向上・維持に努める。
- (2) 共通認識をもちながら共通実践を行う組織体として、主担当者を中心に一丸となって教育活動を推進する。
- (3) 家庭・地域との連携・協働により教育活動の充実を図る。

6 経営の重点

- (1) 「生きる力」の育成を目指した学級経営の充実
 - ・各学年の発達段階に応じた学校教育目標の実践化・具現化
 - ・自己決定の場を充実させ、子どもたちが主体的に考え、選択し、行動する力の育成
 - ・活躍の場を保障し課題の改善を図る、一人ひとりに寄り添った支援の実現
- (2) 確かな学力の育成
 - ・複式指導を通じてわかる授業を実現し、自ら考え行動する学びの主体性を伸ばす。
 - ・児童のつまづきに着目し、ICT活用や合理的配慮で個別指導し基礎基本の定着を図る。
 - ・授業と連動した家庭学習指導を通じて習慣化を図り、読書環境とICT教育を充実させる。
- (3) 豊かな人間性の育成
 - ・異年齢による交流活動、地域の教育資源を活用した体験活動のねらいに基づいた推進
 - ・自主的、実践的な集団活動を通して高まろうとする態度の向上を図る特別活動の推進
 - ・自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性の養成
- (4) たくましい心身の育成
 - ・個に応じた運動習慣の形成と体力の向上を図る取組の充実
 - ・健康に関する課題解決に向けた健康教育（保健指導・食に関する指導）の充実
 - ・「命を守る力」を育む安全教育の充実と安全管理の徹底
- (5) 家庭や地域との連携
 - ・基本的な生活習慣の形成（挨拶、早寝、早起き、朝ご飯、適切なメディア利用）
 - ・必要な情報の共有を図るための家庭や地域への積極的な情報発信
 - ・PTA活動、学校運営支援協議会活動の充実
- (6) 連携・協働して職務を遂行する職員集団の育成
 - ・報告・連絡・相談の徹底と情報の共有化
 - ・教職員としてのコンプライアンス意識の保持と高揚に係る相互啓発を促す取組の実施
 - ・ウェルビーイングな働き方の実現を目指した働き方改革の推進

7 月別重点

月	重 点	月	重 点
4	集団と学びの基盤づくり	10	協調性の伸長と表現力の向上
5	集団行動様式の定着と責任感・連帯感の涵養	11	個に応じた確かな学力の育成と自己実現への支援
6	学習指導の充実化と目標達成に向けた支援	12	2学期のまとめと冬季休業の指導
7	1学期のまとめと夏季休業の指導	1	取組の評価と3学期・新年度の方策の検討
8	取組の評価と2学期の方策の検討	2	進級・進学に向けた支援と次年度計画作成
9	たくましい心身の育成と主体的取組への支援	3	1年間のまとめと引継ぎの確実な実施



令和8年度 弥栄小 学校経営全体構想

【県教育振興計画 基本目標】

学びと絆で 夢と未来を拓き
社会を創造する人づくり

【市教育振興 基本目標】

郷土を愛し 自ら学び未来
を拓く 一関のひとづくり

学校教育目標
進んで学び 心豊かで
たくましい子どもの育成

目指す児童像

学ぶ子ども (知)

- ・自ら学び考える子
- ・確かな学力を身に付けた子
- ・豊かに表現できる子

助け合う子ども (徳)

- ・思いやりのある子
- ・明るく挨拶や返事をする子
- ・誰とでも協力する子

きたえる子ども (体)

- ・自分の身を守ることできる子
- ・健康的な生活をする子
- ・最後までやり抜く子

「絆」「居場所」

「教学半」

目指す学校像

- 学ぶ楽しさ、ふれ合う喜びのある学校
- 安心・安全な学校
- 家庭や地域から信頼される学校

目指す教師像

- 児童一人ひとりを大切にし、よさや可能性の伸長に尽力する教師
- 向上心をもって相互に磨き合い、協働して課題を解決する教師
- 保護者・地域の声に真摯に耳を傾け、信頼に応える教師

今年度重点

確かな学力の育成

- ・自ら学びを進める力と学習に対する主体性の伸長を目指した授業の実践
- ・複式指導の充実に向けた学習環境の整備と、個別最適な学びと協働的な学びの推進
- ・発達段階を考慮した家庭学習の内容の充実と習慣化

豊かな人間性の育成

- ・異年齢による交流活動、体験活動のねらいに基づいた推進
- ・自主的、実践的な集団活動を通して高まろうとする態度の向上を図る特別活動の推進
- ・他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性の養成

たくましい心身の育成

- ・個に応じた運動習慣の形成と体力の向上を図る取組の充実
- ・健康に関する課題解決に向けた健康教育の充実
- ・「命を守る力」を育む安全教育の充実と安全管理の徹底

「生きる力」の育成を目指した学級経営の充実

- ・各学年の発達段階に応じた学校教育目標の実践化・具現化
- ・自己決定の場を充実させ、子どもたちが主体的に考え、選択し、行動する力の育成
- ・活躍の場の保障と、一人ひとりに寄り添った支援の実現

6年間を通して
育み 高める
「自己肯定感」
「自己有用感」



連携・協働して職務を遂行する職員集団の育成

- ・報告・連絡・相談の徹底と情報の共有化
- ・コンプライアンス意識の保持と高揚に係る相互啓発の促進
- ・ウェルビーイングな働き方の実現を目指した働き方改革の推進

「まなびフェスト」数値目標達成に向けた取組

家庭や地域との連携

- ・基本的な生活習慣の形成（挨拶、早寝、早起き、朝ご飯、適切なメディア利用）
- ・必要な情報の共有を図るための積極的な情報発信
- ・PTA活動、学校運営支援協議会活動の充実

保護者（PTA活動） 地域（一関連合交通協会）

令和8年度 一関市立弥栄小学校 まなびフェスト

進んで学び 心豊かで たくましい子ども

学ぶ子ども (知)

- 自ら学び考える子
- 確かな学力を身に付けた子
- 豊かに表現できる子

学校教育目標
(目標と姿)

- 複式指導で「わかる授業」を実現し、自ら学ぶ力を育てます。
- 児童のつまづきを見極め、基礎基本の定着を図ります。
- 家庭学の充実と読書環境の整備を通じて学びの習慣を育みます。

学校の取組

- 授業中はじっくり考え進んで伝え仲間と一緒に問題を解決します。
- 1日「10分×学年の数+10分」集中して家庭学習に取り組みます。
- 1週間に合計30分以上、家庭で読書を行います。

児童の取組

- 集中して家庭学習に取り組む環境を整える。
- 音読を聞き、家庭学習の内容や取り組みんだ時間を確認する。

家庭の取組

助け合う子ども (徳)

- 思いやりのある子
- 明るくあいさつや返事をします
- 誰とでも協力する子

- 全ての児童にとって、いここのよい学級づくりに努めます。
- 明るいあいさつや返事をします子どもを育てます。
- 自分の役割を自覚し、協力し合う子どもを育てます。

- 友達には「ふわつと言葉」をつかって話し、やさしくします。
- 家族や先生、友達とあいさつを交わします。
- 学校で自分の仕事に、家庭で手伝いに進んで取り組みます。

- 家庭で学校の出来事を話題にする時間を設ける。
- 毎日の仕事や手伝いなど、家庭での役割をもたせ、取り組みさせる。

きたえる子ども (体)

- 自分の身を守ることでできる子
- 健康な生活をする子
- 最後までやり抜く子

- 健康や安全に関する望ましい生活習慣の育成に努めます。
- 目標に向かって、粘り強く体力づくりに励む子どもを育てます。
- 食育指導の充実を図り、食べることへの関心を高めます。

- 「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけて生活します。
- 目標に向かって体をきかえます。
- スマホ・タブレット・ゲーム・パソコン・テレビの時間と約束を守ります。

- 基本的な生活習慣を身に付けさせ、生活リズムを整える。
- メディア利用について、家庭での約束を決めて守らせる。

【地域にお願いすること】

1. 地域学習や学習ボランティアへの協力
2. 子どもたちの見守り
3. 地域行事への参加の呼びかけ

令和8年度 まなびフェストの評価

目標	取 組	評価方法	目標値	担当	
学ぶ子ども（知）	学校	わかる授業づくりと、自ら学ぶ力を育てます。	教職員自己評価 「児童が自分の考えをもち、伝えようとする」 ----- 単元テスト（国語・算数・社会・理科） ※個に応じた柔軟な配慮を認める	肯定的回答 90% ----- 80 点以上 100%	
		児童のつまづきを見極め、基礎基本の定着を図ります。	教職員自己評価 「各種諸調査やタブレット学習の結果を指導に生かす」 ----- 弥栄っ子テスト（国語・算数） ※個に応じた柔軟な配慮を認める	肯定的回答 90% ----- 80 点以上 100%	
		家庭学習の充実と読書環境の整備を通じて、学びの習慣を育みます。	教職員自己評価 「授業と連動した家庭学習の意識化」 ----- 保護者の評価	肯定的回答 80% ----- 達成割合 80%	
			目標値(読書冊数)の設定 ※図書館教育担当の提案による	達成割合 80%	
	児童	授業中はじっくり考え進んで伝え、仲間と一緒に問題を解決します。	児童自己評価 「じっくり考え、進んで伝える」	肯定的回答 90%	
		1 日に 10 分×学年の数+10 分、集中して家庭学習に取り組みます	点検（2 週間） 児童自己評価 ----- 保護者評価	達成割合 80% 肯定的回答 80% ----- 肯定的回答 80%	
			1 週間に合計 30 分以上、家庭で読書をしします	点検（2 週間）+ 児童自己評価 ----- 保護者評価	達成割合 80% 肯定的回答 80%
		助け合う子ども（徳）	学校	全ての児童にとって、いごちのよい学級づくりに努めます	QU 教職員自己評価
	自分の役割を自覚し、協力し合う子どもを育てます			教職員自己評価 児童自己評価 「たてわり班活動で、協力できた」	肯定的回答 90%
	進んで明るい挨拶や返事をする子どもを育てます			教職員自己評価	肯定的回答 90%
児童	友達には「ふわっと言葉」をつかって話し、やさしくします		児童自己評価	肯定的回答 90%	
	家族や先生、友達と挨拶を交わします		児童自己評価	肯定的回答 90%	
	学校で自分の仕事に、家庭で手伝いに進んで取り組みます		児童自己評価 保護者評価	肯定的回答 90%	
	きたえる子ども（体）		学校	健康や安全に関する望ましい生活習慣の育成に努めます	教職員自己評価
目標に向かって、粘り強く体力づくりに励む子どもを育てます		教職員自己評価 点検（毎月） 「ねばり強く運動し、目標を達成した」		肯定的回答 90%	
食育指導の充実を図り、食への関心を高めます		教職員自己評価		肯定的回答 90%	
児童		「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけて生活します	点検（1 週間） 児童自己評価 ----- 保護者評価	達成割合 90% 肯定的回答 90% ----- 肯定的回答 90%	
			点検（1 週間） 児童自己評価 ----- 保護者評価	達成割合 70% 肯定的回答 70%	
		スマホ・タブレット・ゲーム・パソコン・テレビの時間と約束を守ります	点検（1 週間） 児童自己評価 ----- 保護者評価	達成割合 70% 肯定的回答 70%	

「学校評価」の実施について

1. 学校評価の目的

(1) 学校運営に関する目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価し改善を図るサイクルをとおして、学校運営の組織的・継続的な改善を図る。

(学校運営の組織的・継続的改善)

(2) 自己評価及び学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

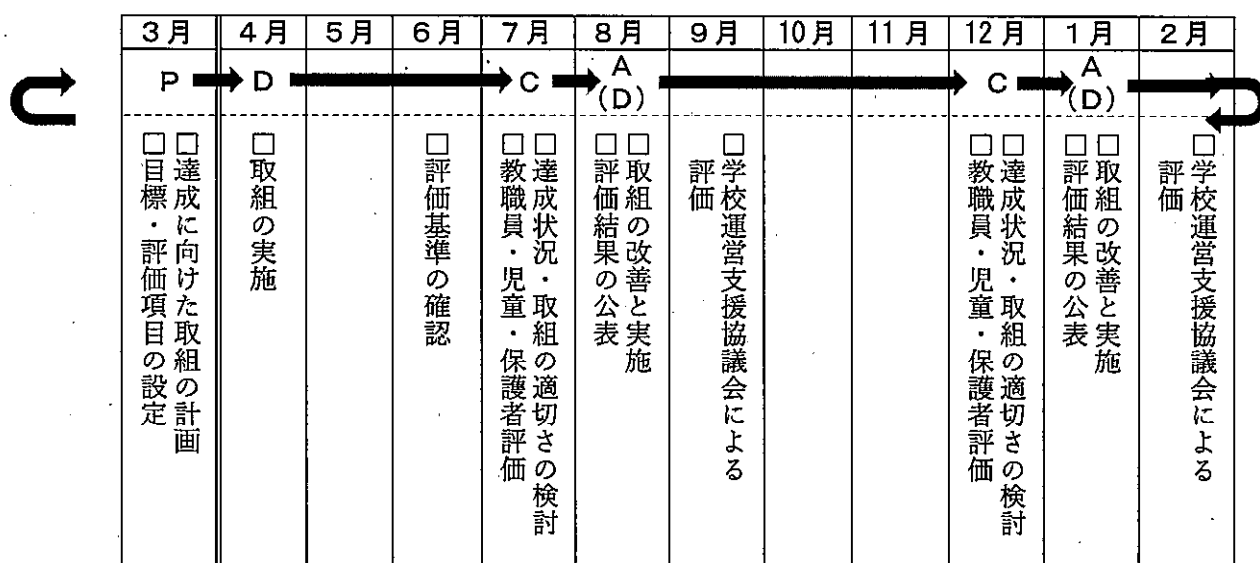
(説明責任の履行、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりの推進)

2. 実施内容

(1) 教職員・児童による自己評価・保護者評価とその結果の公表

(2) 学校の関係者による評価（「学校関係者評価」）

3. 評価サイクル



4. 目標達成に向けた取組の推進について

(1) 目標達成に向けた取組を牽引する部会を設定する。

(2) 達成状況、取組の適切さ、改善に向けた方策等について部会で協議すると共に、共通理解を図るために全体に提案する機会を設定する。

部会	知育部会	徳学部会	体育部会
構成員	教務主任 研究主任 図書担当	生徒指導主事 児童会担当	保健主事 体力向上担当 (副校長)

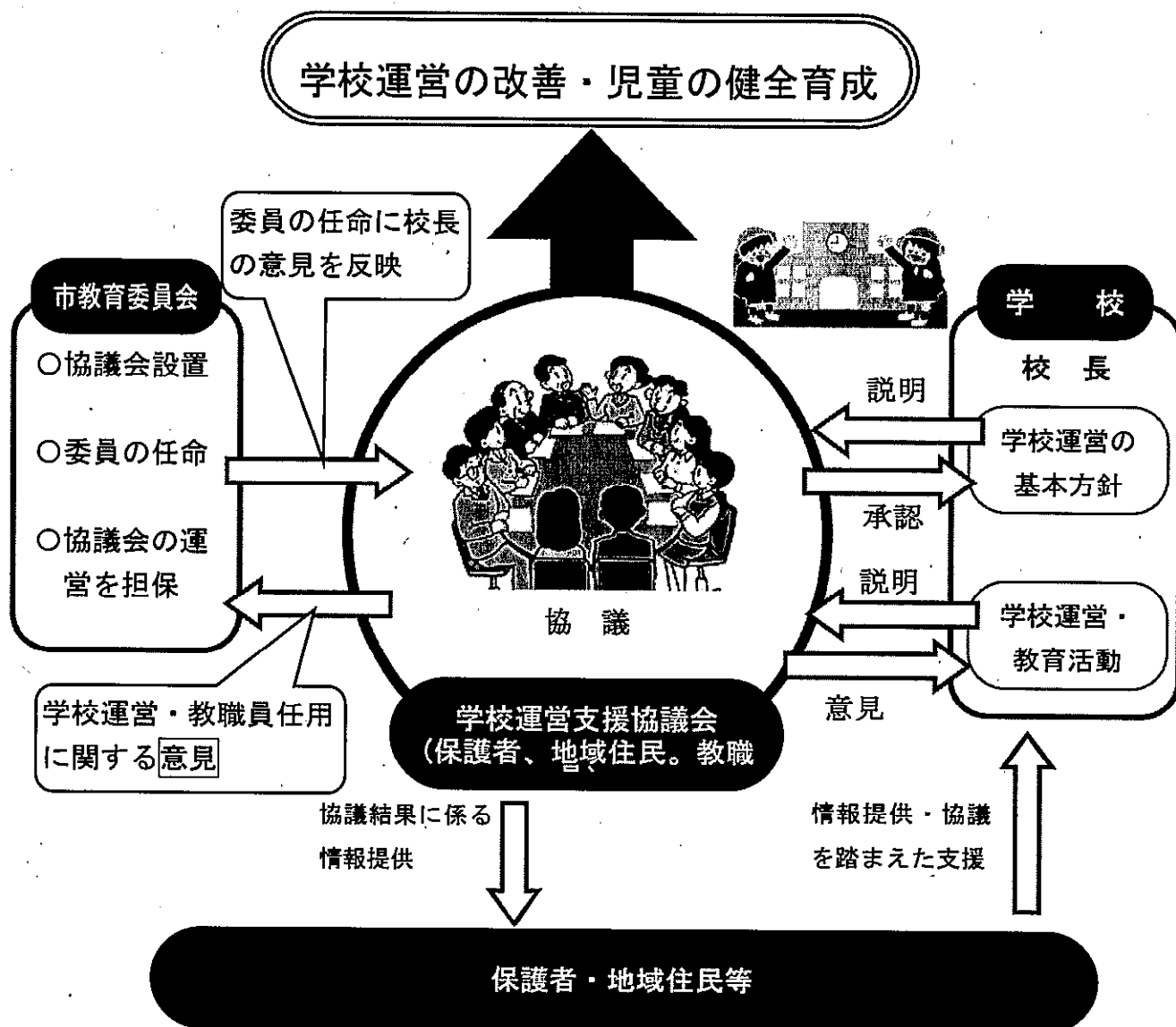
※部会（知育・徳育・体育）→職員会議（経営反省会）

(3) 「まなびフェスト」に係る児童・保護者の評価については、目標等の達成状況や取組の適切さ等について評価を行う際の資料と捉え活用する。

(4) 教職員・児童・保護者評価の結果と部会及び職員会議での協議結果を「自己評価」として公表するとともに、学校運営支援

学校運営支援協議会のイメージ

※一関市では、あえて「支援」と入れることで
学校を支援する協議会であることを強調



〈学校運営支援協議会の主な役割〉

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることもことができること
- 教職員の任用に関して、「一関市学校運営支援協議会規則」に掲げる以下の事項に留意したうえで、教育委員会に意見を述べることもことができること
 - ・「地域住民等の学校に対する支援及び協力を促進し、学校と地域住民等の信頼関係を深め、もって学校運営の改善並びに児童生徒の権限育成を図る」という協議会の目的を踏まえたものであること
 - ・学校の教育上の課題を踏まえたものであること。
 - ・特定の個人に関するものでないこと
 - ・職員の分限、懲戒、賞罰その他身分に関するものでないこと